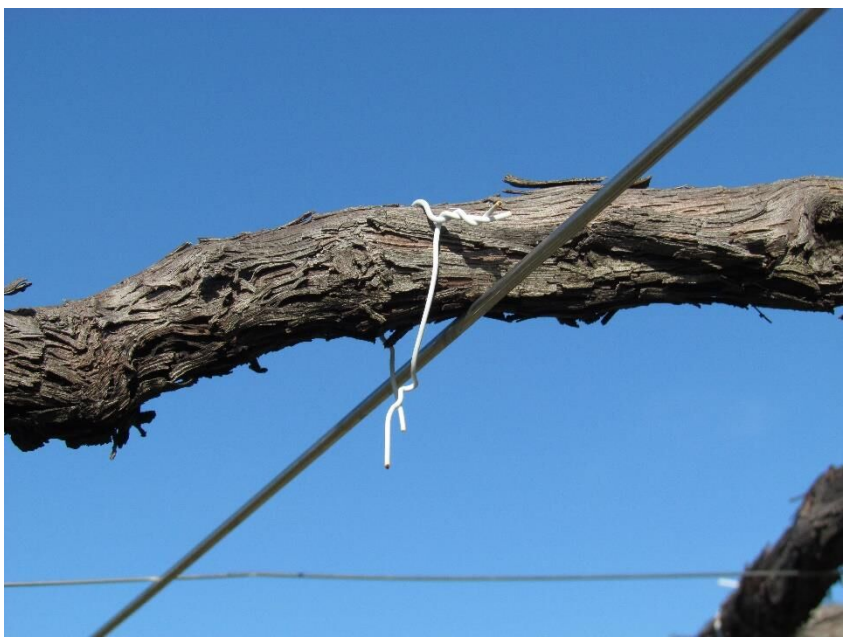
農の風景ウェブ版

冬は準備の時間

師走の冷たい空気が張りつめる中、来年もおいしいブドウが収穫できるよう、黙々と剪定作業を続けていました。
「剪定の仕方は何かあるのですか？」
と尋ねると、
「こっちとこっちに伸びるようにこれを残して切る」
と教えてくださいましたが、、、
シロートにはよくわかりません(^^;)

生産者さんが始めた頃は、この八ツ松、鎌倉台周辺でもブドウ農家が十数軒あったそうだが、今では4軒。ここでも後継者不足。儲からないことが一番の理由。固定資産税は高いし、人手がいる。資材の高騰が追い打ちをかけている。ブドウは収益性があるからなんとかやっていける。



冬は農閑期だけど、やることはある。剪定がひととおり終わると、トラクターを入れて耕すそうだ。これで、根が張りやすくなる。
狭いので、気を遣う作業
枝は、強風で動かないように、ワイヤーに固定する。

(注)取材させていただいたほ場では、一般の方の見学などは行っていません。

撮影場所： 緑区鎌倉台
撮影取材日:2021年 12 月 14 日